

Saul's tragedy

サウルの悲劇

CFNJ NEWS

クライスト・フォー・ザ・ネイションズ 聖書学院 2008.10・11月号 NO.130



1. 悲劇とは何か？

■サウルの生涯は悲劇であったと言われます。悲劇とは、偶然起こった不幸や悲しみのことではありません。むしろ、当然起こるべくして起こった道徳的帰結のことです。サウルは何もこのような最後を迎える必要はありませんでした。人生の進路修正の機会は何度もありました。しかし彼は、破滅に向かいつつあることを知りながら、自分の道を変えようとしなかったのです。そこに彼の生涯の悲劇があります。

豪華客船タイタニック号の沈没事故についても同じことが言えます。いくつかの要因が、その事故を悲劇的なものにしました。タイタニック号は、1912年4月、サウサンプトンを出て、ニューヨークに向かいました。処女航海でした。構造上、不沈船と呼ばれ、安全度、速力、その豪華さにおいて世界最高の客船でした。しかし、出発して数日後、静かな晴れた夜、氷山に衝突して沈没しました。1,500名の人命が失われ、歴史上最大の海難事故となったのです。なぜ、そうなったのでしょうか。

4つの理由があげられます。

1. 安全を過信し、救命ボートを十分準備していなかった。
2. 世界最速船であることを証明するために、最短航路を選び、氷山のある地域をあえて避けようとしなかった。
3. 高収益をもたらす、乗客のニューヨーク向けの電報が優先され、氷山発見の電報への対応が遅れた。
4. SOSの信号は、近くを航海していたいくつかの船によって受信されたが、それが不沈船タイタニック号からのものとは即座に信じられず、救助が遅れた。

2. サウルの生涯の教訓

■これらはすべて科学への過信と、経済的収益の優先がもたらしたものです。事故は決して偶然ではありませんでした。そこにタイタニックの悲劇があるのです。しかし悲劇は常に教訓を残します。だれでも、ある法則を破れば、必ずその結果を刈り取ることになるだろうという教訓です。では、サウルの生涯が残した教訓とは何でしょうか。何が彼を悲劇の生涯へと導いたのでしょうか。その決定的要因は何であったのか。それ

は預言者サムエルとの訣別です。聖書は言っています。「サムエルは、死ぬ日まで、二度とサウルを見ることはなかった」サウルはサムエルと訣別して、錨を失った船のように大海をさまようことになりました。

私たちの場合も、自分の人生行路の安全確保のために、決して訣別してはならないものがあるのではないのでしょうか。サウルにとって預言者サムエルであったものとは、私たちにとっては何でしょう。それは「聖霊の声」です。私たちの内側から聞こえてくる細い声です。聖書は言っています。

「今日、御声を聞いたら、心をかたくなにはならない」と。

さらに私たちが捨ててはならないのは、どんな人の心にも必ず存在する「善なるものへの憧憬」です。人の注意や警告に耳を傾けようとする、素直で正直で、謙遜な心です。これを捨てるとき、私たちは必ず信仰の破船に遭うのです。

最後の晩餐のとき、イエス様は、厳しい言葉を弟子たちの前で発せられました。「あなたがたのうちひとりが、わたしを裏切ります。」この言葉は、弟子たちに大きな衝撃を与えました。彼らはみな自分の心を探りました。そんな思いが自分のうちにあるとすれば、なんと恐ろしく、また悲しいことだろう。弟子たちはそう思っかわるがわるイエスに問うたのです。

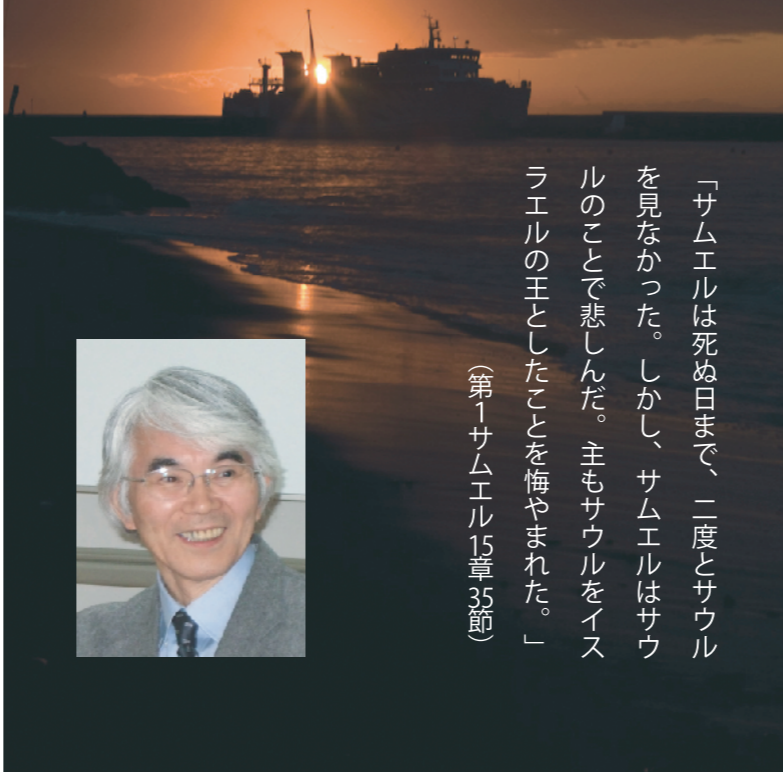
「主よ。まさか私のことではないでしょうか」と。しかし、ユダにはその態度がありませんでした。彼は開き直りました。彼の決意は固かったのです。サウルもまた、預言者との訣別が、彼の後の生涯に、どれほど重大な意味を持つかについて十分な洞察が欠けていたのではないのでしょうか。

サウルの悲劇

ゲストスピーカー特別講義

大津キリスト教会牧師
・学院顧問

米村 英二師



「サムエルは死ぬ日まで、二度とサウルを見なかった。しかし、サムエルはサウルのことで悲しんだ。主もサウルをイスラエルの王としたことを悔やまれた。」
(第1サムエル15章35節)

3. 実現されなかった願い

■その後、サウルは、悪の力に翻弄されながら、もがき、苦しみつつ、人生の最期へと向かいます。こうしてサウルの生涯は失敗に終わるのです。しかし失敗したからと言って、彼の人生のすべてが否定されるべきではないように私には思われます。どんな人の人生も、ただ外側に現われた行為だけで、そのすべてを評価するのは必ずしも公平とは言えないからです。

サウルは、確かに悪の力に負けました。しかし決して抵抗しなかったわけではありません。彼なりに悪と戦い、そのために真剣に祈ったことがあったに違いありません。

イギリスの詩人ブラウニングは言いました。「われらが善について欲し、望み、夢見しすべてはあり続ける」と。

私たちの現実、ただ欲し、望み、夢見るだけで終わってしまうことのほうが多いものです。しかし、実現はできなくても、私たちが欲し、望み、夢見たことはみな、神にささげられた音楽として天に昇り、神に聞かれています。だから、ただ願っただけでも意味はある。望み、夢見ることに価値はある。これがブラウニングの信仰でした。預言者サムエルは、サウルをあきらめるのが早過ぎたのかもしれませんが。サウルにも、サムエルの知らない、真実な心の生活があったとどうして言えないでしょうか。行為として外に現われることはなかったけれど、本当はこうありたいとサウルが心の中で願ったことは、決してむだではなかった。それらはみな神に覚えられている。神は、それらの思いを同情の目をもって見てくださっていた、と想像するのは間違いでしょうか。

明治期に札幌農学校の校長として来日し、「少年よ大志を抱け」という言葉を残したクラークは有名です。けれども帰国後の、彼の後半生は、必ずしも幸福とは言えませんでした。クラークは日本から帰ると、一つの夢を描きました。それは水上大学をつくることです。大きな船に大学の設備を備え、教授も学生も乗り、船の中で講義が行なわれ、学生たちは世界を回りながら三年で卒業するという壮大な計画でした。そのためには膨大な資金がいります。その資金を得ようとして彼は鉱山業に手を出し、それが失敗し、ついに破産してしまうのです。こうして失意の中で人生の最後を迎えたクラークは、その死の床でこう言いました。「私は自分の生涯の事業で、ひとつとして足るべきものはありません。ただ日本の札幌においての八ヶ月間、学生たちと起居をともにし、彼らに聖書を教えたことだけが、いま私の生涯を閉じるにあたって、自分の心を慰めるに足る唯一の事業です。私が死んだら、そのことを彼らに伝えてもらいたい」

クラークは、自分の夢の実現のために、結果的には破産し、不本意な人生を送ってしまいました。では彼の人生は失敗だったのでしょうか。確かに鉱山事業は失敗でした。しかし彼の描いた教育への壮大な夢は、たとえ実現されなかったとしても、札幌で学生たちに聖書を教えたことに劣らず、価値ある事業ではなかったのでしょうか。同様に、サウルにも、まじめな戦いがあったと思います。挫折し、敗れはしましたが、彼の戦ったその戦いがむなしく葬り去られることはないのです。それを暗示する聖書の箇所がいくつかあります。第一は、ギレアドの人たちが、サウルの親切を忘れず、彼の亡骸を手厚く葬ったことです。第二は、信仰と勇気の人であったサウルの子ヨナタンが、最後まで、父サウルに対する尊敬を失わなかったことです。第三は、サウルに命を狙われ、長い逃亡生活を余儀なくされたダビデさえも、サウルの死を悲しみ、「イスラエルの娘らよ。サウルのために泣け。サウルは紅の薄絹をおまへたちにまとわせ、おまへたちの装いに金の飾りをつけてくれたではないか」と、心からの追悼の歌を歌ったことです。

聖書が残したこれらの記述は、サウルと同様、過ちの多い人生を送っている私たちにとって、大きな慰めとならないでしょうか。

この夏、北海道はじめ全国各地に御言葉を伝えるに旅立ちました。

「12人は出かけて行って、村から村へと回りながら、至る所で福音を宣べ伝え、病気を直した。」ルカ 9:6

'08年度 夏のアウトリーチレポート!



●手作りのTシャツで勢ぞろい(釧路・帯広チーム)



●丘の上チャペル前にて(旭川チーム)



●富山チームは在校生の教会や黒部の教会で奉仕(富山チーム)



●留寿都のシオンクリスチャンセンターにて(森・ルスツチーム)



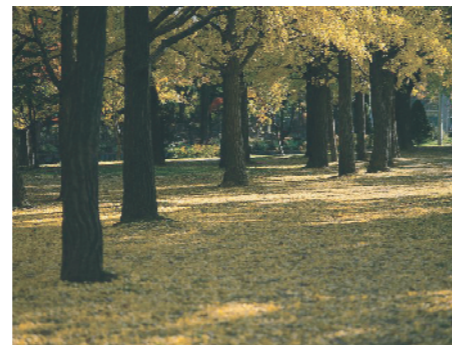
●中澤先生ご家族との記念写真(埼玉県、飯能チーム)

■CFNJでは、去る7月から8月の終わりにかけて、恒例の国内サマーアウトリーチを行いました。今回は、釧路と帯広・旭川・森とルスツ・富山・飯能と5つのチームに分かれて、それぞれの場所で、子どもたちや若者にミニ

ストーリーをしたり、トラクト配布をしたり、初めて訪問する教会や地方の会館などで、賛美や証、スキットやドラマ、さらに結婚セミナーなどを行うことが出来ました。各地で出会った全ての方、お世話になった皆様に感謝します。

2学期ゲストスピーカーのご紹介

2008年10月6日(月)~11月19日(水)までの期間



●ゲスト講師の授業は、聴講は無料(席上献金あり)ですが、アルプスコースとCMPコースは有料となります。詳しくは事務局までお問い合わせください。



●10月6日(月)~10日(金)
メキシコ生まれ、インターナショナル・チルドレンズミニスター
アルマ・ベルメホ師

●2時間目(全体授業)



●10月22日(水)~24日(金)
新城教会主任牧師・全日本リバイバルミッション実行委員・リバイバル聖書神学校講師
滝本順師

●1・2・3時間目(全体授業)



●10月27日(月)~31日(金)
ニュージーランド出身。日本に留学後、マレーシアにて5年間伝道する。大阪ジーザスファミリー教会を設立。
グレアム・フォーセツト師

●1・2時間目(全体授業)



●11月10日(月)~14日(金)
リニューアル・コンサルティング社長。戦略的リーダーシップ博士。
ブルース・マクドナルド師

●1・2時間目(アルプス)



●11月18日(火)
アメリカ、ダラスにあるCFNI卒業。異端研究の専門家。真理のみことば伝道協会主事。
ウィリアム・ウッド師

●1・2・3時間目(全体授業)



●3年前に救われてから、本当に変えられ続けてきました。与えられた学びの日々、ただ主に期待・信頼していきます!

一般コース
高須賀 麻早(札幌市)



●ハレルヤ!私を励まし導いて下さった主に感謝します!また、祈り支えて下さった家族と教会の皆さん、ありがとうございます。たった一年ですが、もっと神様の愛を学び、励まし仕える者へ成長していきたいです!

一般コース 石倉 望(茨城県)



●ハレルヤ!主の御名ほめたたえます。沢山の人の祈り、励ましを頂き、学院に入学することが出来ました。主にある恵みをからだいっぱい感じ、喜びに満ちた毎日を過ごしたいです。よろしくお願いします。

CMPコース 松代 幸子(札幌市)



●私がこの学院に入学し、様々な教えを頂いていることに対して、驚きと共に、大きな喜びが与えられています。今回、特にCMPコースで、児童伝道について、学びのときを持つことができていることを感謝しております。短い間ですが、この学院で多くのことを学び、精神的にも霊的にも成長していけたら、と願っています。

CMPコース 河村 亜希(東京都)

2008年 9月8日(月)

新入生の紹介

●二学期の始まりと共に、学院顧問の米村英二師をゲストにお迎えして、入学式が執り行われました。この日から新たに四名の新入生が、御言葉の学びをスタートしました。これからの歩みのため憶えてお祈りをよろしくお願いたします。



(上) 祝会で自己紹介をする新入生 (下) 入学式後の集合写真

CFNJ特別講義

「同労者のマナー」

(Ⅱテモテ書から学ぶ、同労者の6つのタイプ)

チャーチ・オブ・ゴッド メキシコ派遣宣教師・
グアダハラ教会牧師

阿部和子師



阿部和子師

私は伝道者、宣教師として1981年からメキシコで働き、4年に1度は帰国報告のために多くの教会に行ったりお招きに預かったりして、多くの牧師先生や副牧師先生にお会いしました。私のように海外にいる者にとって、そのような機会は人を見るセミナーのようなものでした。先生方との出会いの中で、学ばせていただき自分を養い育ててきました。

1 デマス- 退く同労者 (10節)

■デマスはパウロと共に働いた同労者でしたがパウロを捨てて離れて行きました。彼が退いた理由は、この世を愛してしまっただけです。この世のプレッシャーに弱かったのかもしれませんが。要求される自己犠牲や、迫害、落胆、同労者との価値観の違い、自分に死に切れないなどの理由が彼を神様の働きから退けてしまいました。

2 テキコ- 従う同労者 (12節)

■パウロがテキコを遣わそうとした時、彼はすぐに従いました。任地に関するパウロの指示を神様からのもの(みこころ)として受取った人です。このような人は神様によく用いられる人です。

3 マルコ- 役に立つ同労者 (11節)

■マルコは、パウロとバルナバの反目の原因となった人です。しかし、マルコを足手まといになるとまで言ったパウロ自身が生涯最後の手紙で、彼は役に立つ者と表現しました。マルコはパウロと別れた後、神様に取り扱われ、自己鍛錬の期間を経たのでしょう。たとえ自分の尊敬するリーダーに一度はダメだと言われたり失敗したとしても、あきらめてはいけません。神様の御手に陥るならば、同じリーダーに認められるチャンスは必ずあるのです。

4 テモテ- 責任を果たす同労者

(13節)

■安心して頼みごとができる人です。

5 ルカ- 忠実な同労者 (11節)

■同労者として、医者として最後まで仕えるべき器に仕えた人です。パウロの周りに誰もいなくなった時でさえ、ルカは共にいました。

6 銅細工人のアレキサンデル

- 警戒される人 (14節)

■同労者ではありませんでしたが、警戒される人として名が挙げられています。彼はパウロたちの言葉に激しく逆立ったとあります。その仕業に応じて主が裁かれるでしょう。

残念なことに牧師間においても、同労者間においても、また主牧と副牧の間においても問題が起こります。ですから、私の経験から同労者のマナーについてお話させていただきます。どなたかと働かせていただけることはすばらしいことです。リーダーや同労者に仕える期間は、みなさんが造られる時であり、練られる時ですからそのような環境を与えてくださるリーダーや同労者に感謝しましょう。以下は、神学生が卒業後、(主任牧師になる前に)副牧師や教会スタッフとして立つことを前提とした内容になっていますが、主にある兄弟姉妹が主に用いられる器となるためにも有益なポイントです。

1 心を込めた「あいさつ」が出来る

■これは相手を大切にしている行為です。人を無視して神様を愛することはできません。長い言葉で丁寧にします。例えば、ただ「どうも」とか「おはようございます」だけでなく、ゲストの方などには「遠いところからおいでくださってありがとうございます。」などです。

2 信徒と友達にならない

■自分の境界線、領域を保ち、適切な距離を置くことが大切です。友達は互いに対する責任がありませんので、注意や指導もしづらしい、言われたほうも受け入れがたいものです。友達レベルでは信徒の魂のケアをしきれないということ覚えておきましょう。

3 自分から謝ることができる

■「すいませんでした」だけでなく、何をしたら謝っているのかをきちんと伝えます。「もし、私が悪かったらごめんください」の、「もし」は自分が悪くないことを暗に伝えているので真の謝罪にはなりません。「～をして申し訳ありませんでした。お赦してください」と言います。

4 わきまえることを学ぶ

A 自分の立場をわきまえる

■牧師が自分に何を期待し、要求しておられるのかを、言われる前に速やかに察知することです。相手の心を読むとは、イエス様の心を読むことと同じです。分からなければ、素直に牧師に聞くことと良いですね。出際、引き際をわきまえるのも大切です。

B 身だしなみをわきまえる

■TPOはもちろんのこと、清潔感が漂うにしましょう。これは服装のことに限りません。気遣いや態度など表に表れていることは、心の装いが表に表れているにすぎません。「神様は私の内側をご覧になるのだから、外見は気にしないでいい」と言っているうちはまだまだ未熟です。個性とは、清められ練られてこそ初めて個性になるのですから。又、個性の長所は短所にもなることを覚えておきましょう。

5 時間を守る

■時間に遅れることは相手の時間を盗むことです。盗みは罪ですね。遅れそうなら連絡を入れましょう。メールのやりとりにおいては、「メールを受け取りました」という確認メールをすると、相手は届いているかどうか煩う必要がありません。

6 コミュニケーション

■牧師から仕事を頼まれたらその進み具合を、信徒に物を渡しておくよう頼まれたら、渡しましたと伝える等、経過や結果をきちんと報告します。

7 感情のコントロール

■感情の起伏は、言い換えると霊性の起伏でもあります。信徒は、牧師やリーダーの表情に敏感です。鏡を見て表情筋をほぐして部屋を出るなどして笑顔を心がけましょう。

8 批判をしない

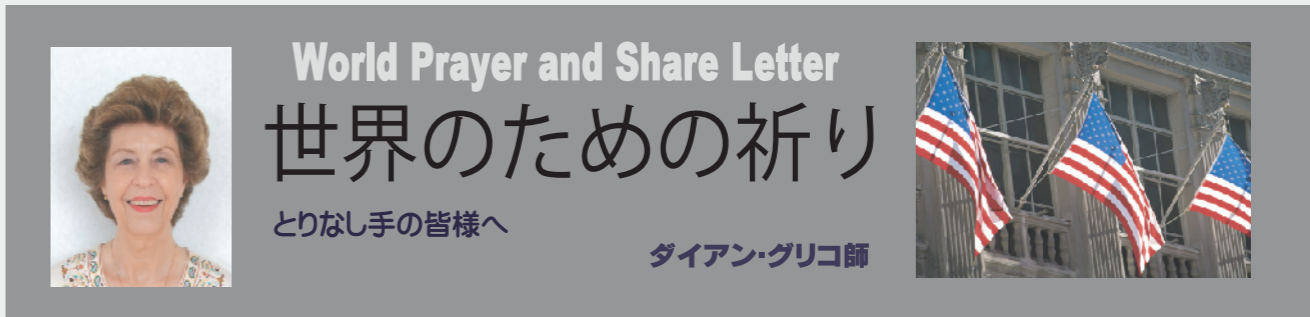
■牧師のミスのカバーします。信徒と一緒にあって牧師を批判してはいけません。

9 牧師の説教を恵まれる態度で聞く

■このことほど牧師を励ます行為はありません。同労者であるあなたはいつても牧師を尊敬し、一番の理解者であり、同意者であることを態度で表し、他の信徒の模範になりましょう。

10 孤独に耐える

■結婚するにしても独身でいるにしても孤独に耐えられなければ型崩れしてきます。どんな所でも、立場でもそれぞれに負うべき十字架があります。だからこそ、そこにキリストが拡大されていくよう祈りましょう。



アルカイダ、イスラム教徒にイエス・キリストの福音を伝える、指導的アラブ人伝道者を狙う。(1)

■アラビア語のある新聞は、「イスラム社会の第一の敵」として、「ザカリア・ボトロス神父」の名前を載せました。彼の敵はただ彼を黙らせたいだけでなく、暗殺することを願っています。(彼の死に対する報酬は6,000万ドル(約62億円)にまで達するとCBNが報道しました。)

なぜイスラム過激派は、このエジプト出身の70代のコプト教会の神父に激怒しているのでしょうか？ボトロス氏は、自国に福音を入れさせまいとするイスラム政府の必死の努力をよそに、最先端の人工衛星テクノロジーを利用することにより、マホメットは預言者であり、コーランは神の言葉であるという主張に対して真っ向から挑戦しています。彼は大胆にも、イスラムの間違いを正すだけでなく、なぜイエス様がイスラム教徒を愛しておられるか、そして更に、彼らが何者で何をしてきたかではなく、今、なぜイエス様は彼らを救し、神の家族に招き入れておられるのかを、聖書を通して彼らに熱く語っています。

「アルハヤット」というアラビア語の衛星放送(ライブ・テレビ)で週に4回、再放送されているボトロス氏の90分番組は、イスラム世界で「必見」となっています。「アル・ハヤット」は、北アフリカ、中東、中央アジア、北米、ヨーロッパ、オーストラリアやニュージーランド在住の約5,000万人のイスラム教徒が見ています。その結果、1カ月あたり少なくとも1,000人のイスラム教徒が、同氏の電話カウンセラーと共にイエス様を受け入れる祈りをしています。それには回線が混んでいてカウンセラーと通話できない多くの人々の数は含まれていません。

ボトロス氏のインスピレーションはヨハネ3章16節から来ています。彼は、「誰でも」イエス・キリストが主であることを信じるなら、ユダヤ人であってもイスラム教徒であっても永遠の命を受けると信じています。ボトロス氏はすべてのイスラム教徒が過激派だとは信じておらず、むしろすべてのイスラム教徒は霊的に迷っていると信じており、イスラム教徒を創造し愛しておられる神様の救いと和解の道を、彼らが見出す手助けをしたいと切実に願っています。(編集者注：現在、ザカリア・ボトロス神父は安全な非公開の場所にいます。主が御国に集めておられるイスラムの魂のすばらしい収穫のゆえに彼と共に喜びましょう。そして、ボトロス氏の身の安全と世界中のイスラム教徒にイエス・キリストの福音を伝えるために必要なものがすべて備えられるようお祈りください！)

米国副大統領候補(アラスカ知事、サラ・ペイリン氏)は、「中絶反対者」であり、イスラエルの保全を支持。

■米国の社会的・宗教的保守派の人々は、ダウン症の赤ちゃんを世の中に歓迎したことに対してサラ・ペイリン氏を深く賞賛し、妊娠中の十代の娘に関してした「生存権」に対する献身を拍手喝采しました。ジョン・J・ピットニーJr.氏はナショナル・レビュー・オンラインでこう書きました。「何人かの政治家は真の献身なしに中絶反対の立場をとってきましたが彼女は違っています。

彼女は中絶反対の歩みをしてきました。」(2)

サラ・ペイリンの選挙運動顧問であるT・エスキュー氏は彼女について次のように述べました。「彼女は核兵器を所有しているイランに対するイスラエルの恐怖を理解し、イスラエルの有力な支持者として自分を説明するでしょう。」ペイリン知事はイスラエル国家の保全は聖書的命命であると教えているプロテスタント系福音派の教会に通っています。(3)

(編集者注) 1. 聖書の神は親イスラエルです。神様はイスラエルの「父」として選ばれたアブラハムに言われました。「わたしはあなたを大いなる国民とし、あなたを祝福し、あなたの名を大いなるものとしよう。あなたの名は祝福となる。あなたを祝福する者をわたしは祝福し、あなたをのろう者をわたしはのろう。地上のすべての民族は、あなたによって祝福される。」(創世記12:2-3) 神様はイエス様を信じるすべての人に、アブラハムの祝福を約束されました。イエス様は私達がこれらの祝福を受けることができるように、私達の呪いとなりました。 2. 聖書の神は命を守るお方です。出エジプト記20章13節で、神様は「殺してはならない。」と言われました。中絶は殺人です。

11月4日のアメリカ大統領選のためにお祈りください。テネシー州出身の元共和党上院議員フレッド・トンブソン氏は、「私たちが最初にアメリカ国旗に忠誠を誓って以来、今ほど大統領の品性や判断力、指導力が重要である時はありません。」と言って、福音派アメリカの心の内を表しました。(4)

インドのデリーで、9歳の女の子がイエス様に癒しを叫び求める。(5)

■ヒンズー教徒の11歳の少女レアは、15日以上続いた高熱で右足が無感覚になって、とても弱り、きちんと歩くことができずでした。苦痛な検査の後、医師はレアの母親マルタに、彼女を助けるためにできることはもう何もないと告げました。しかし、レアが叔母を訪問した時、彼女はイエス様の御名で癒される人々が映っているCBNの番組を見ました。彼女は母親に「もうこれ以上お医者さんに行きたくないわ。私を教会に連れて行ってちょうだい。私を癒してくださいるようにイエス様をお願いしたいの。」と言いました。彼らが教会へ行つたとき、母親のマルタは15日以内にレアを癒してくださいとイエス様に祈り求めました。なぜなら、15日後にはレアの筋肉の組織検査が予定されていたからです。5日もしない内に、マルタは驚きました！レアが普通に歩いていたのです。そして医師は、「あなたの娘さんはどこも悪いところはありませんよ!」と言いました。この一家はヒンズー教の偶像をすべて捨て、彼らの人生をキリストにささげました！

(編集者注) 世界中に主の癒しの愛と憐れみが注がれているゆえに、イエス様を賛美し続けてください。また、インドのオリッサ州の信者のためにもぜひお祈りください。オリッサ州からキリスト教を「浄化」しようとする過激派のヒンズー教徒によって彼らは殺され、鞭打たれ、家や教会が焼かれています。(6)

脚注(1)ジョエル・ローゼンバーク(2008年9月9日付) novembercommunications@ixs1.net (2) www.nationalreview.com (3)ワシントン・タイムズ(2008年9月8日付17頁)ラルフ・Z・ハロウ記者(4)同誌15頁(A.P通信社)(5)クリスチャン・ワールド・ニュース(2008年9月12日付)(CBN.comメディア・センター)(6)殉教者の声-Persecution.com re: Orissa, India

感謝と緊急のご支援のお願い!

絶えず学院の働きのためにささげ、祈ってくださる皆様に感謝いたします。神様の恵みと皆様の信仰と愛のこもった祈りや贈り物によって私たちは月々の必要が満たされて、ここまで学院を運営して来ることができました。

現在、主の恵みのうちに総勢33名の学生たちは日々ことばを学び、寮での共同生活を通して訓練を受けております。学院はこれからも「霊に燃えた働き人」をこの世に送り出し続けたいと願っています。

あなたが、この学院における神様の働きを信じて、神様の働きのパートナーとなってくださっていることに本当に感謝します。主があなたを豊かに報いてくださいますように!学院は新校舎が建設されて6年がたち、日々の学院の活動のために、又、合同賛美集会、エリヤハウス祈りのミニストリースクールや、他の団体や教会によって用いられ感謝していますが、建物のメンテナンスのために様々な必要が生じています。現在、右記の必要を覚えています。

皆様そうだと思いますが、私共も灯油の値上がりに伴う月々の水光熱費の大きい負担を感じています。どうぞ祈りと献金を持って支えてくださいますようお願いいたします。

●非常照明設備点検	57,750円
●非常照明予備電池交換	739,284円
●真空ヒーター部品交換	59,220円
●暖房用オイルポンプ交換	30,000円
●エレベーター点検	75,600円
●タイル補修工事	31,500円
●ボイラー設備点検	63,000円
●空調設備点検	57,750円
●車検	100,000円

合計 1,214,104円

●学院寮、校舎の継続的な水光熱費・修繕維持費のために。

スタッフ一同、皆様のご支援を感謝すると同時に、主からの豊かな御恵みがありますよう、お祈り申し上げます。

2008年10月 学院長 鍛冶川利文

学院主催

「石狩市民クリスマス会」

開催のお知らせ!



- 日時:12月5日(金) 開場:午後6時 開演:午後6時30分
- 場所:石狩市花川北コミュニティセンター (石狩市花川北3条2丁目198-1)
- 入場:300円(小学生以下無料)

来る12月5日(金)午後6時30分から、石狩市花川北にあるコミュニティセンター(通称北コミ)において、学院主催のクリスマス会を開催する予定です。2002年に学院が石狩に移転してから今年で早6年目、例年学院ホールで行ってきたクリスマス会を今年は一歩外に出て、地域のコミュニティセンターで行うことになりました。石狩市民の祝福を願って開催されるこのクリスマス会に、一人でも多くの市民の方々が集うように、是非お祈りください。

「北で2008」開催される!

北海道の2つの神学校が共に奉仕する。



■去る9月14日(日)~15日(月)真駒内青少年会館において、「北で2008」が開催され、北海道の各地から延べ400人の若者が集い、熱い賛美と日本の若い世代のための祈りが捧げられました。この大会は、日本プロテスタント宣教150年を迎える2009年に、札幌で開催される「第5回日本伝道会議」(JCE5)のプレ青年大会で、教団教派を超えた諸教会の若者たちが一致協力して準備が進められてきました。また、今回は北海道に二つしかない神学校、CFNJ聖書学院と北海道聖書学院が初めて共に参加することができ、大会テーマである教団教派を超えた「宣教協力」のために主が働いてくださっていることを実感する歴史的な大会となりました。



青年大会で賛美の奉仕をするCFNJ学院生



宗教学人 アジアキリスト福音宣教会・クライスト・フォー・ザ・ネーションズ日本校

CFNJ聖書学院

〒061-3216 石狩市花川北6条5丁目157
(0133)74-1341・1342 FAX 74-1343

●HP:www.cfnj.com 郵便振替:02780-4-4688
●e-mail:office@cfnj.com 学院長/鍛冶川利文

